

民進

Minshin Press (民主改題)

号外

2016年4月8日(第1・第3金曜日発行)
 民進党 民進プレス編集部
 〒100-0014
 東京都千代田区永田町1-1-1
 電話 03-3595-9988(代表)
 メール press@dpj.or.jp
 URL https://www.minshin.jp

- 【特集】
- ①小田急多摩線延伸、前進へ！
 - ②町田立体、4月24日午前6時に開通決定。
 - ③「消された年金」年金積立金、5兆円の損失
 - ④TPP協定・関連法案の質疑がスタート

民進党神奈川県第14区総支部長

衆議院議員

けんたろう
もとむら賢太郎

昭和45年(1970年)4月生まれ。相模台幼稚園・桜台小・相模台中・県立麻溝台高・青山学院大卒。本村和喜参議院議員秘書、東鉄工業(株)を経て、藤井裕久衆議院議員秘書。平成15年神奈川県議選に選挙区最年少で初当選、平成19年にトップでの得票で再選。平成21年衆議院議員初当選。平成24年総選挙で惜敗。平成26年12月衆議院議員再選。



小田急多摩線延伸、前進へ！

15年に1度の交通政策審議会の答申(案)が発表されました

小田急多摩線延伸(唐木田～相模原～上溝)は、「地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクト」と位置付けられ、「意義がある」との答申案となりました。



答申案は、15年に1度発表されます。今回の答申では、これまで行われていた格付けは行われず、「国際競争力強化のためのプロジェクト」「地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクト」に分けられました。答申に示された課題を解決した路線から国が支援することです。

小田急多摩線延伸については、採算性の確保などの課題が指摘されています。こうした課題をしっかりと受け止めていくことが求められますが、加山市長もコメントしているように意義を認めてもらったことは大変喜ばしいことです。

また、今回の答申では、相模原～上溝も位置付けられたことは特筆すべき点です。田名や愛川町までの延伸を望む声もあります。街づくり計画と一体として、考えていかねばなりません。

今月中にはパブリックコメントを受けて、答申がまとめられます。小田急多摩線延伸の1日も早い実現に向け、取り組んでまいります。

答申案のポイント①
プロジェクトの意義が認められた

答申案のポイント②
相模原～上溝も位置付けられた。
上溝～本厚木は上溝までの整備状況に応じて検討するのが適当とされた。

答申案のポイント③
リニア中央新幹線と関係して、橋本駅における乗換利便性向上や、相模線の輸送サービス改善についても記載された

小田急多摩線延伸実現に向けて。答申に対し、もとむら賢太郎は全力で取り組んでまいりました

○27年5月20日、衆議院国土交通委員会

延伸における課題、黒字転換年次の延長について質疑。太田大臣(当時)からは、「地元の要望が強いというのは感じている」「地元での検討の深度化を図ってほしい」との答弁。

○27年8月6日、衆議院国土交通委員会

具体的な課題は、開業後の事業継続性、まちづくりによる需要確保、事業費負担の在り方、関係者間の合意形成との答弁。答申が出て終りではなく、検討の深度化、課題のクリアが必要。

○27年9月9日、国土交通省に要望実施。後藤祐一衆議院議員・県議・市議の皆さんと北川副大臣に要望を行う。

日本一の交通量
(H22交通センサス)

【速報！！】

国道16号町田立体（本線部）

4月24日（日）午前6時～開通決定！！

※もとむら賢太郎は国土交通委員として、取組んでまいりました。

（5月20日国土交通委員会、12月3日国土交通委員会）

交通渋滞の緩和・迂回の減少による生活環境の改善が期待されます！

「消された年金」

年金積立金5兆円の大損失…7月末まで発表しない「隠す」体質は改めるべき。

皆さんからお預かりしている厚生年金・国民年金を運用するGPIF。その運用実績について、一部で「5兆円超の損失」と報じられていることを受け、民進党は特別チームを発足しました。また、独自の試算によって、5兆円の損失が生じていること、2014年に運用変更をしなければ損失はなかったか、より少額だったことを明らかにしました。

2014年の運用変更は、株式比率を50%にしたものです。これによって株価はいったん上がりましたが、そのために国民の年金をリスクにさらすのは間違いです。

今回の損失は、リーマン・ショック時に並ぶ大損失です。しかし、政府は具体的な数字を7月29日まで発表しないと。例年より1か月以上遅いのは、参議院選挙への影響を懸念してなのでしょう。誠実な情報公開を求めます。



2016.4.3東京新聞朝刊より



4月5日（火）衆議院TPP特別委員会理事懇談会提出資料 ※全45ページの一部

TPP協定・関連法案の審議がスタート。出された資料は黒塗りの「のり弁資料」

今国会最大の焦点のひとつであるTPP。4月5日、衆議院本会議でTPP協定や関連法案の審議がスタートしました。国民生活に密接に関係する内容ですから、TPPに関する特別委員会で、合意内容を明らかにしていかなければなりません。

また、交渉において国会決議が守られているのかどうかを確認することは、国会の責務です。もちろん、相手のあることですので、すべてを公表できないこととは理解できます。しかし、なぜこの内容になったのか、国民の皆さんに納得していただくためにも交渉過程の公表は必要です。

しかし、政府から出された資料は会議の名称と日付以外はすべて黒塗り。まったく情報公開するつもりがないと思えるものです。それなのに、西川特別委員長は、TPP交渉の内幕を出版するというのです。国会には情報を開示しないのに、なぜ内幕を知っているのでしょうか？国会軽視だと受け取られてもおかしくありません。引き続き明確な説明を求めてまいります。

●お問い合わせはこちら

民進党神奈川県第14区総支部(もとむら賢太郎事務所)

■相模原事務所

〒252-0203 相模原市中央区東淵野辺4-15-1相模原総合卸売市場 E-7 電話 (042)768-9055 FAX(042)768-9066

■国会事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館606号 電話 (03)3508-7166 FAX (03)3508-3606

■南連絡事務所

〒252-0313 相模原市南区松が枝町17-8 第2大栄ビル4階

電話/FAX (042) 745-7920